

手賀沼通信(第324号)

Eメール: nittay@jcom.home.ne.jp
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai

http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/
http://tegatu2.web.fc2.com

新田良昭

今月は手賀沼通信ブログからの抜粋です。シリーズものではない抜粋です。

手賀沼通信ブログ抜粋

被団協にノーベル平和賞が与えられる(No. 1858) (令和6年10月13日)

2024年10月11日、被爆者団体の全国組織「日本原水爆被害者団体協議会(被団協)」にノーベル平和賞を授与することがノルウェーのノーベル委員会より発表されました。

被団協はビキニ環礁の水爆実験で日本の漁船「第五福竜丸」が被ばくしたことをきっかけに、その2年後の1956年に、広島、長崎の被爆者を中心に発足しました。1945年の広島、長崎の原爆投下から11年後のことです。

その後「ノーモア。ヒバクシャ」をスローガンに国内外で署名活動や請願を続けてきました。その活動の成果の1つが1995年の被爆者援護法の施行です。

2016年に米国のオバマ大統領が広島の前原式典に参列した時に、被爆協の代表だった坪井直氏と握手した場面は、原爆投下者と被爆者の和解の象徴として世界に発信されました。

読売新聞の社説に「今回の受賞は、ロシアによるウクライナ侵攻で核の脅威が高まる中、核兵器の廃絶を訴え続け、軍縮の機運を醸成してきたことが高く評価された。(中略)だが、核をめぐる情勢はむしろ悪化している。ロシアによる威嚇に加え、中国は核弾頭を増やしている。北朝鮮の核・ミサイル開発もアジアの安全を脅かしている。ロシアは核使用の可能性をほのめかし、イスラエルはイランの核施設攻撃の可能性を捨てていない。今回の受賞決定は、こうした動きに対する重い警告の意味も込められているのではないか。」と出ていました。

ストックホルム国際平和研究所によると、核弾

頭保有国は、米国、ロシア、英国、フランス、中国に加えて、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮の9か国で、核弾頭の数はいずれも推定総数1万2121発にもなっています。

日本は核の被害を受けた唯一の国です。核使用がどれほど残虐な被害を人類にもたらすかを知っています。今回の受賞が世界平和に少しでも役立つことを願っています。

命を救われる(No. 1859) (令和6年10月20日)

2024年10月15日慈恵大柏病院に行きました。数か月前から朝ごみ捨てに往復100メートルほど歩くと、息切れがして胸や背中が痛くなりました。自分の部屋を掃除しただけでも同じ症状が出ることもありました。かかりつけ医で心電図を取ってもらったらちょっと異常があるとのこと、精密検査をするため、慈恵大病院に紹介状を書いてもらいました。それで15日に行くことになったのです。

少し不安はなりましたが、どちらかというと軽い気持ちで循環器内科受付に行ったのです。診察前に血液検査と心電図を取りました。

それから診察を受けたのですが、いきなり言われたのが「心筋梗塞です。入院してもらいます」でした。いきなり頭を殴られた感じでした。

妻には慈恵大病院で検査を受けてくるとしか言っていない。入院の準備など何もしていませんでした。

担当医の中山先生から治療の説明がありました。以前新東京病院で入れたステントのところが詰まっている可能性がある、カテーテル検査をして、悪いところに新たにステントを入れるかもしれないとのことでした。

後で知ったことですが、病院から妻と息子に電話をしていただき二人が駆けつけてくれました。

カテーテル治療は1時間以内で終わりました。

その後はI C Uに入りました。詳しいことは別室で先生から妻と息子の説明があり、入院に必要なものを持って来たり、売店で購入するよう言われたようです。

I C Uで落ち着いたころ、先生から治療は従来のステントに小さなステントをつなげたと説明がありました。大腸憩室出血を防ぐため、私の判断で飲み続けていた血液さらさらの薬をやめたのも今回の病気の一因になっていると言われました。

I C Uでは両腕に動脈とつないだ点滴をしながらいろいろな検査が続きました。全く眠れない夜でした。

翌日のお昼前に一般病室に移ることができました。そして10月19日に退院したのです。

今回はそのままにしておく死につながる病気でした。先生や看護師やスタッフの方に命を救われたと実感しました。またいろいろサポートしてくれた妻や息子や娘に感謝、感謝です。

入院中西田敏行さんが虚血性心疾患でなくなりました。わが身と比較し深く感じるがありました。

退院した翌日にこのブログを書いています、15日からの5日間がまるで夢の中だったような感じを抱えています。

今回の入院生活（NO. 1861）（令和6年11月12日）

2024年10月23日以来20日ぶりのブログです。

10月15日に心筋梗塞で入院し、10月19日に退院していましたが、1週間後の26日に大腸憩室出血を再発して再度慈恵医大柏病院に入院しました。最初の入院は5日間で済みましたが、2度目は15日間になりました。

今回の入院生活を振り返ってみたいと思います。

私は今までけがやいろいろな病気で5つの病院に延べ10回以上入院しています。50歳の時バイクで転んで約1か月入院しました。それが最初で最長の入院でした。検査入院など短い時は1日で済んでいます。

大腸憩室出血は手術など特別な処置はありません。絶食して止血剤と栄養補給の点滴が主です。出血が止まったら食事が出始めます。栄養剤のジュースから始まり、流動食、3分がゆ、5分がゆ、

普通食で退院となります。

途中で検査が入ります。血液検査、心電図、レントゲン、CT、エコー、内視鏡などです。心電図は心筋梗塞治療直後だったためかもしれません。携帯用の機器で胸に張り付けたコードにつながっています。機器は24時間パジャマのポケットに入れるしかありませんでした。結構重く、トイレで落とさない注意が必要で、最大のストレスになりました。

考えてみれば、大けがや命にかかわる病気などで入院している人に比べれば、私の入院生活の不満やストレスはぜいたくな悩みでした。私の入院生活は早く血を止めて、早く退院することでした。痛いところや苦しいところはありません。退屈さを抑えて、なんとか時間をやり過ごし、退院まで待つのが仕事でした。

時間を過ごす方法は、テレビ、読書、スマホでした。テレビは1000円のカードで12時間くらい見られます。ちょうど野球のワールドシリーズや日本シリーズの時期でしたので十分楽しめました。病室は朝6時に電気がつき、夜9時が消灯です。

1日3回、検温、血圧、血糖値の検査があります。体重測定は1日1回です。看護師がベッドまで来てくれます。食事がとれるようになると、8時、12時、18時に看護師が病室まで運んでくれます。

トイレはいつもきれいに掃除されていました。私の場合は大便に病気が反映されるため、大便の時はスマホで写真を撮りました。血便が出たときは看護師を呼ぶと看護師が写真を撮っていました。

病室は6人部屋でした。

家族などの面会は予約制で、面会所で行います。以前は病室で面会できたのですが、コロナで規制が厳しくなったようです。

家に帰りいつもの生活に戻って、普通の生活の良さをしみじみと感じています。

入院生活の時間を忘れさせてくれた出来事（NO. 1862）（令和6年11月17日）

2024年11月9日に慈恵医大柏病院を退院して1週間たちましたが、まだ元の生活には完全には戻っていません。食事に制限を設けていることと禁酒していることです。11月20日に同病

院で外来の診察があるのでそのときには禁酒が解けるのではないかと期待しています。

手賀沼通信ブログも以前のようなペースで書いていません。頭もまだ元に戻っていないようです。最近の1週間はブログで取り上げるような事件もありません。

ところが10月26日から11月9日の入院中には大きな出来事が4つとささやかな出来事が1つありました。それらのテレビ放送が入院生活の退屈な時間を忘れさせてくれたのです。

大きな出来事の1つ目は衆議院議員選挙と政府与党の敗北です。10月27日の選挙では自民党と公明党が大幅に当選者を減らしました。両党合わせても過半数の議席は取れませんでした。

2つ目はドジャースのワールドシリーズ制覇です。試合もシャンパンファイトも優勝パレードも午前中のテレビ放送だったので十分に楽しむことができました。いろいろな局で何度も同じシーンを取り上げていましたが、チャンネルを替えながら追っかけて見ていました。

3つ目は日本シリーズでした。どちらのファンでもなかったのですが、DeNAの下剋上に期待をかけていました。その通りになったので良かったです。ただ、病室は9時消灯でしたのでテレビは途中で打ち切ることになり、スマホで結果だけ追っかけることになりました。

4つ目はアメリカの大統領選挙です。トランプが勝ったのは残念でしたが、時間つぶしにはなりました。

ささやかな出来事は全日本大学駅伝で國學院大學が初優勝したことです。孫娘が國學院大學の1年生ですが、駅伝に強いということは知りませんでした。今年の出雲駅伝に優勝したことも知りませんでした。来年の箱根駅伝に勝てば3冠ということになります。

入院中の15日間にこれだけの出来事をテレビで楽しめたのは、病気が想定外だっただけに、想定外が重なった感じでした。おかげで1枚千円のテレビカードの消費も想定外に増えました。

大谷選手が3度目のMVPを受賞（NO. 1863）（令和6年11月13日）

2024年11月21日、ドジャースの大谷翔平選手がナショナルリーグのMVPに選ばれまし

た。アメリカンリーグのエンゼルス時代の2021年、2023年続いて2年連続3度目の受賞となりました。

今回のMVPはいくつかの記録がついています。

- ・3回連続「満票」は初めて
- ・指名打者のMVPは初めて
- ・3度目の受賞は歴代2位タイの12人目
- ・両リーグでの受賞はオリオールズのフランク・ロビンソン以来の58年ぶりの2人目
- ・リーグをまたいでの2年連続は初めてなどです。

今シーズンの大谷選手の記録は次の通りです。

- ・54ホームラン 2年連続のホームラン王
- ・130打点 日本人初の打点王
- ・3割1分の打率 リーグ2位
- ・59盗塁 リーグ2位
- ・50ホームランー50盗塁 メジャー初

今年の大谷選手は悪いニュースとして通訳の水原一平氏の違法賭博発覚・解雇から始まりましたが、それを打ち消すように真美子さんとの結婚や愛犬デコピンの始球式などいい話題を提供してくれました。

そしてホームランと打点の2冠、50ー50の達成、ワールドチャンピオンの獲得と素晴らしい結果を残しました。

大谷選手は「今回のMVPはチームの仲間を代表してもらったようなもの」と語っています。来年はピッチャーとしての活躍も期待されています。

おめでとう 大谷翔平！

がんばれ 大谷翔平！

全国中学校駅伝大会で我孫子中学校が2位となった（NO. 1867）（令和6年12月15日）

2024年12月15日に滋賀県野洲市希望ヶ丘文化公園で行われた、第32回全国中学校駅伝大会男子の部で千葉県代表の我孫子中学校が全国2位の栄冠を勝ち取りました。

大会は女子の部に続いて12時15分スタート、1区3キロのコースを6区走りました。

我孫子中学校は5区から3位でタスキを受け取り、アンカーが頑張って一人を抜き2位でゴールしました。なお1位は埼玉県の藤中学校でした。

我孫子市の中学校は駅伝に強いという伝統があ

ります。我孫子中学校は昨年の関東8県の中学校が参加する関東中学校駅伝大会で、我孫子市の久寺家中学校に次いで準優勝しました。コロナの前年に行われた千葉県中学校駅伝大会でも優勝し、全国中学校駅伝大会に出場しています。

我孫子市の他の中学校も頑張っています。

2024年日本10大ニュース（NO. 1869）（令和6年12月20日）

2024年12月19日、読売新聞読者が選んだ「2024年日本10大ニュース」が決まりました。

- 1 石川・能登で震度7、津波被害
- 2 大谷翔平、米大リーグ初「50-50」
- 3 パリ五輪、日本は過去最多メダル45個
- 4 日本銀行、20年ぶりに新紙幣発行
- 5 闇バイト強盗相次ぐ
- 6 衆院選で与党過半数割れ
- 7 自民党総裁に石破氏、首相に就任
- 8 日航機と海保機が羽田で衝突、炎上
- 9 ノーベル平和賞に被団協
- 10 「紅麹」サプリで健康被害、自主回収

読売新聞が用意した11月までの57項目から10項目を選んで応募する方法です。有効応募総数は昨年の25,304通よりやや少ない24,675通でした。年代別では70歳以上が最も多く31%でした。それに次いで多かったのは60歳代で25%でした。19歳以下は19%で3番目でした。

全项目的中者は昨年の19名から大幅に減って3名でした。全体では昨年同様6项目的中者が最も多く24.2%でした。

私も応募しました。昨年は7项目的中でしたが、今年は8项目的中しました。8项目的中者は6.2%でした。

8、10の代わりに

- 13 日経平均株価がバブル期超え
- 23 DeNA 26年ぶりに日本一を選びました。

昨年は「阪神の38年ぶりの日本一」が5位だったので、「26年ぶりのDeNA」を選んだのですが、阪神との人気度の違いで10位以内に選ばれなかったのでしょうか。

大谷選手は、3年前1位、一昨年4位、昨年2

位に続いて4年連続です。素晴らしいですね。おそらく来年も10大ニュースに選ばれるのではないのでしょうか。

2024年海外10大ニュース（NO. 1870）（令和6年12月21日）

2024年12月20日、読売新聞の読者が選んだ「2024年海外10大ニュース」が決まりました。

- 1 米大統領選、トランプ氏が勝利
- 2 トランプ氏狙った暗殺未遂事件
- 3 大谷翔平の通訳を球団が解雇
- 4 中国で日本人児童が刺殺される
- 5 台湾でM7.7の地震
- 6 北朝鮮軍部隊のロシアでの戦闘を確認
- 7 ガザ戦闘1年、死者4万1000人超
- 8 露大統領選でプーチン氏通算5選
- 9 スウェーデンのNATO加盟決定
- 10 ウクライナ軍、露西部に越境攻撃

読売新聞が用意した11月までの49項目から10項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の17,684通より若干増えて19,722通でした。年代別では70歳以上が30%、60歳代が27%、50歳代が17%でした。

全项目的中者は昨年より1人減って2人でした。全体では5项目的中者が最も多く25.5%でした。

私も応募しました。3年連続で6項目しか的中しませんでした。いつも海外ニュースは国内に比べると成績が振るいません。不勉強のせいでしょう。

6、8、9、10の代わりに、

- 12 金正恩氏、韓国との平和統一を放棄
- 13 イスラエル、レバノンに地上侵攻
- 19 英国で14年ぶりに労働党政権
- 30番以下 香港で国家安全条例成立を選びました。

なお番外として、読売新聞には12月に発生した「韓国で戒厳令」「シリア アサド政権崩壊」の2項目があげられていました。もし11月までに発生していたら、間違いなく10大ニュースに取り上げられていたことと思います。海外ではいつ何が起こるか予想がつかないことが多いですね。